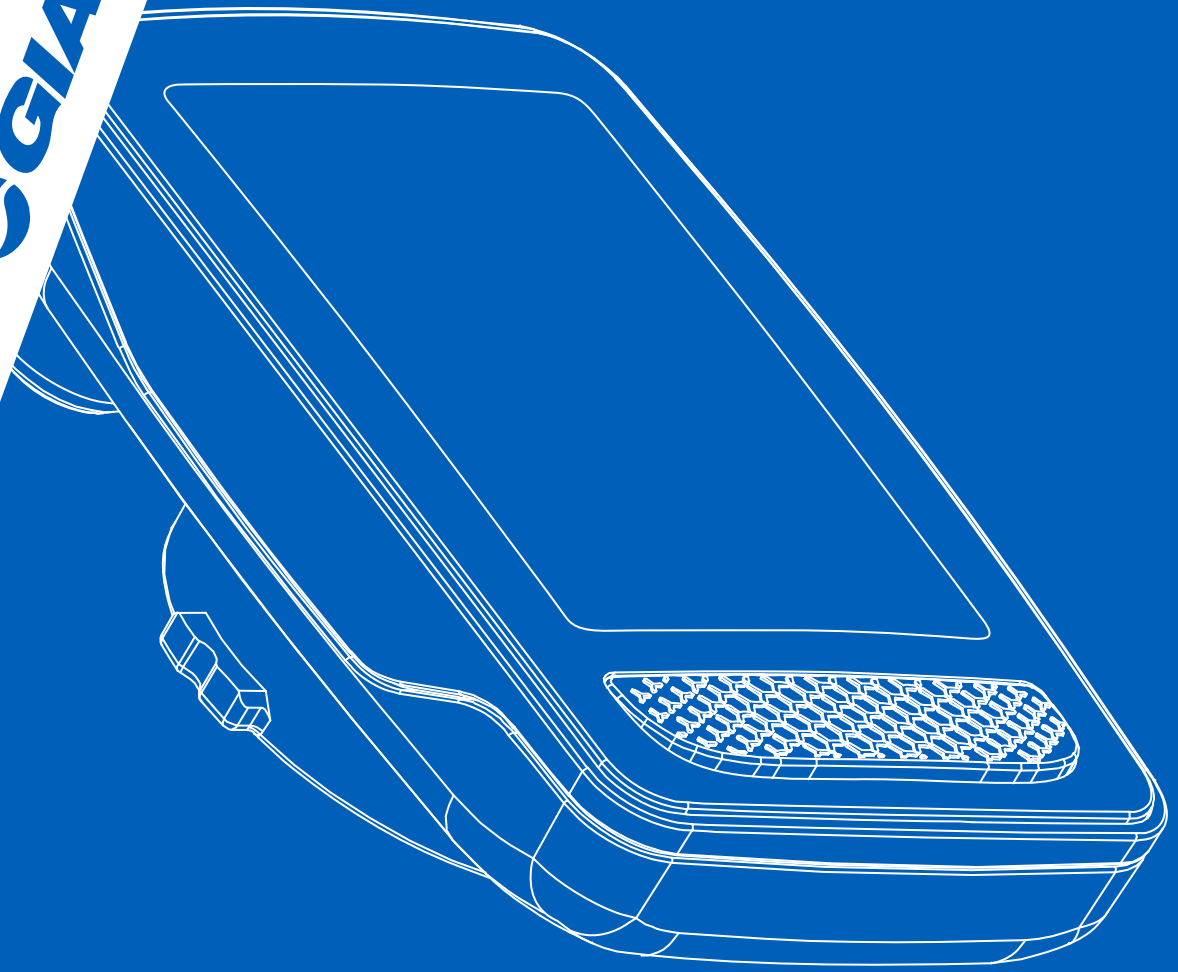


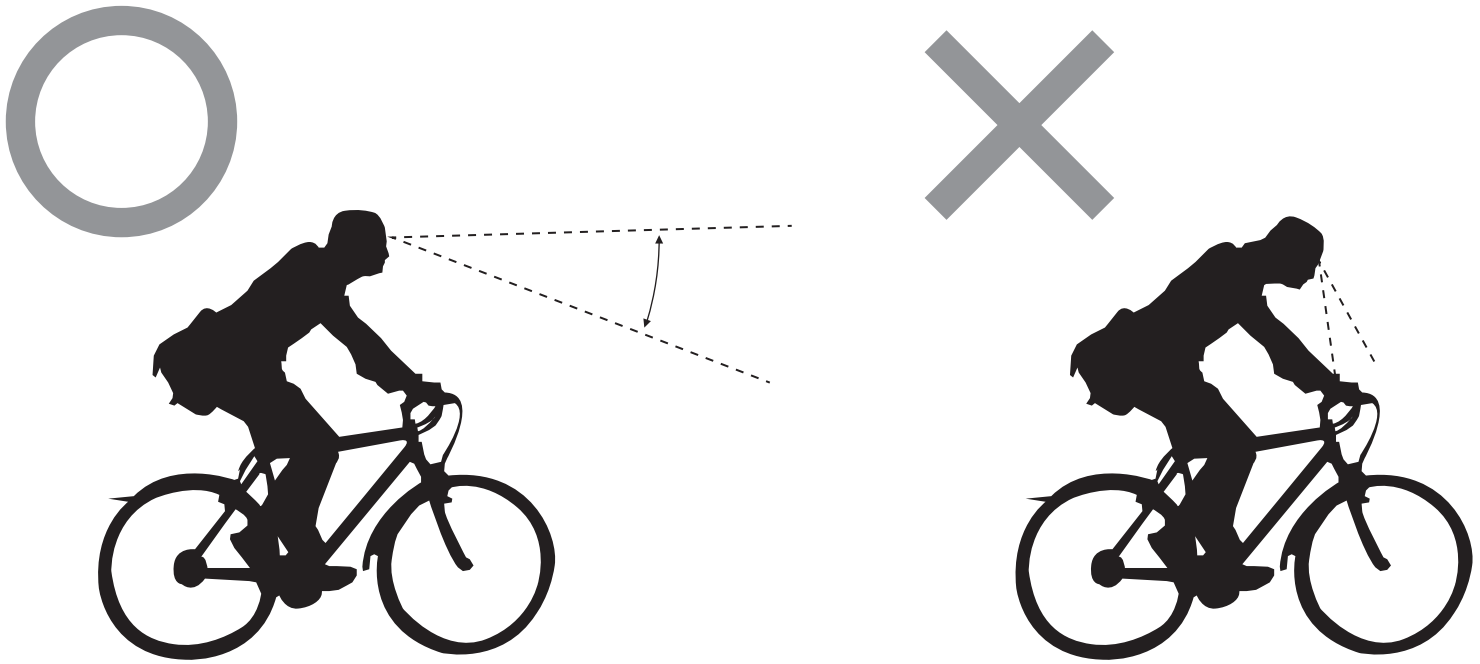
AXACT 14W

アナログ無線コンピューター
取扱説明書

- 日本語 -

目次

1	はじめに
2	パッケージの内容
3	取り付け方法
4	ディスプレイとボタン
5	ディスプレイモード
6	設定モード
7	タイヤ周長の設定
8	時刻の設定
9	単位 / 体重設定
10	スマートバックライト / 保守管理アラート設定
11	走行ログのリセット / リセット
12	トラブルシューティング
13	仕様

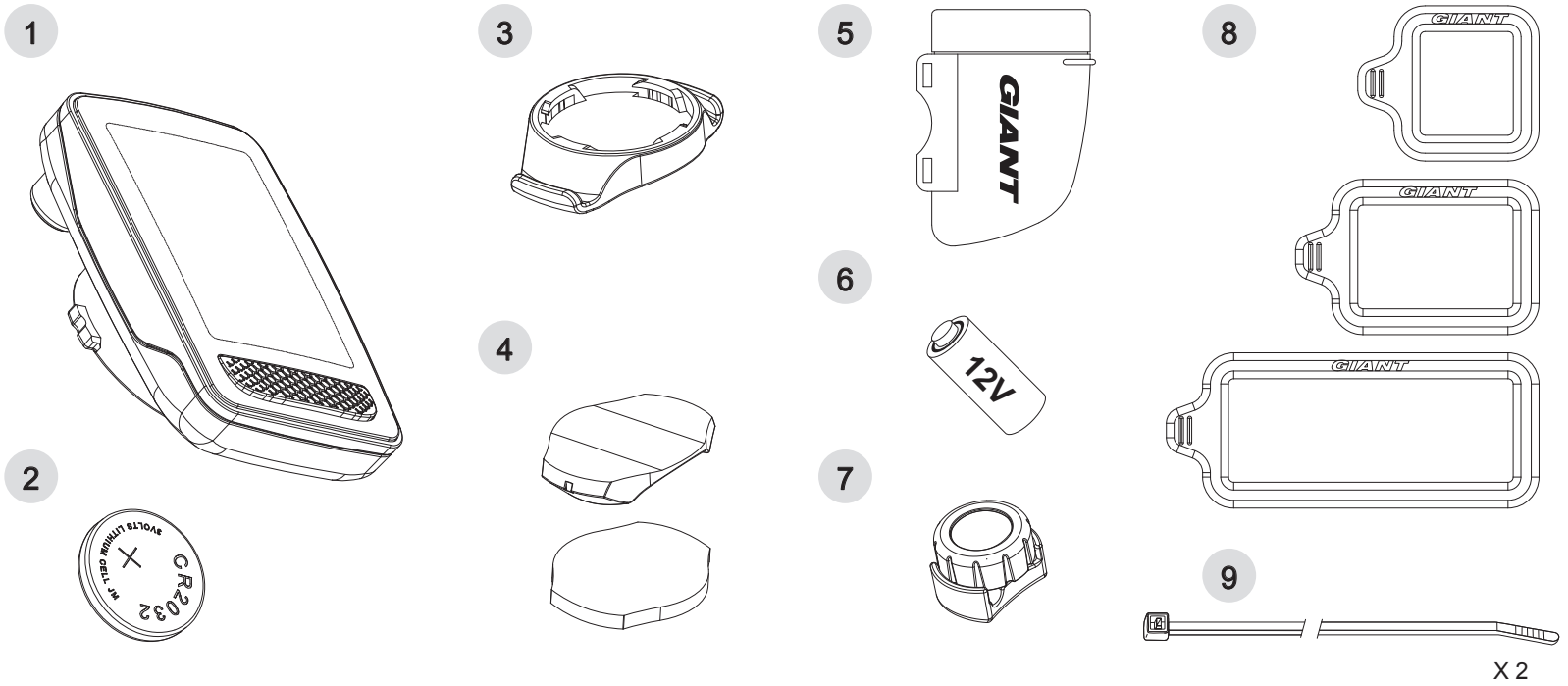


この度はジャイアント Axact 14w アナログ無線コンピューターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書をよくお読みになり、安全にご活用ください。
Axact 14wを自転車に取り付けて走行する際は、画面に気を取られないよう十分ご注意ください。重大な事故につながる恐れがあります。

コンピューターを利用する前にヘッドユニットとスピードセンサーがペアリングされていることを確認してください。
本製品に関してご不明な点がございましたら、お買い上げのジャイアント正規販売店までご相談ください。

それではお楽しみください!

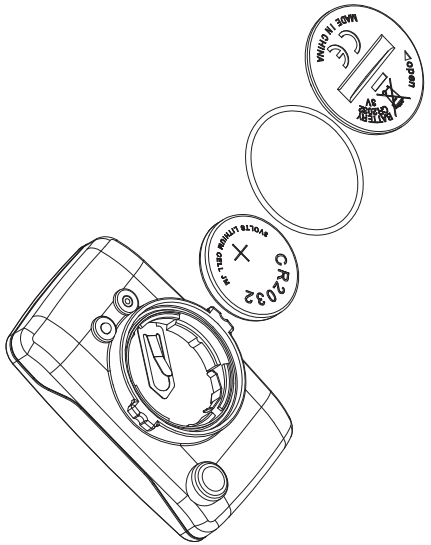
パッケージの内容



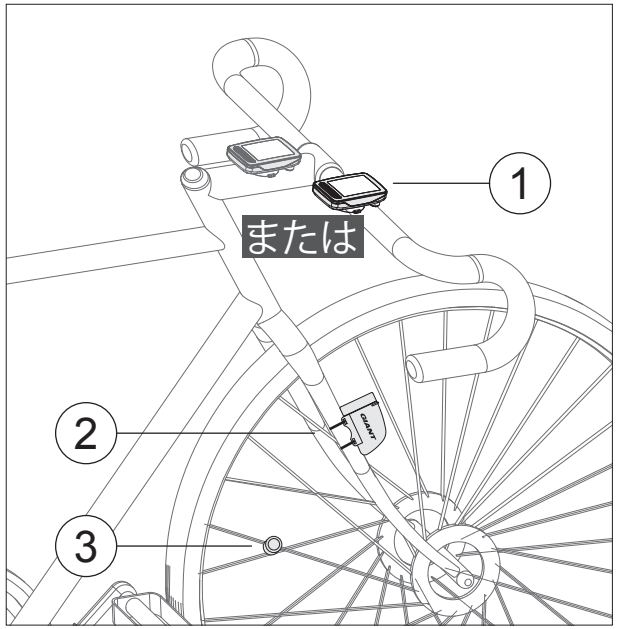
1. ヘッドユニット
2. ヘッドユニットの電池
3. ハンドルバー/ステムマウント
4. マウントベースパッド 2 個
5. スピードセンサー
6. スピードセンサーの電池
7. ホイール用マグネット
8. ストラップ 3 個
9. 結束バンド 2 個

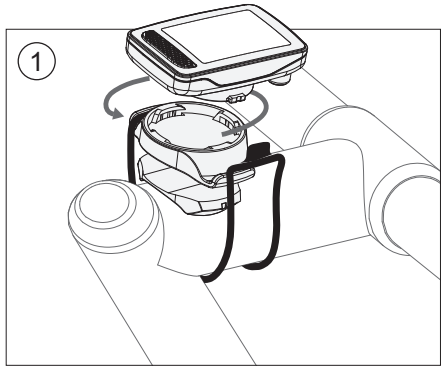
取り付け方法

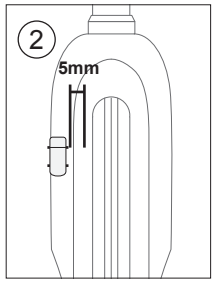
電池の取り付け

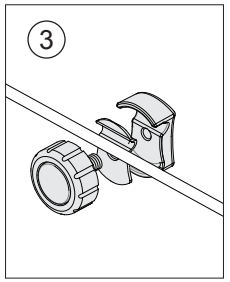


取り付け









電池を本体の裏面に取り付けます。
カバーの開閉には硬貨を使います。

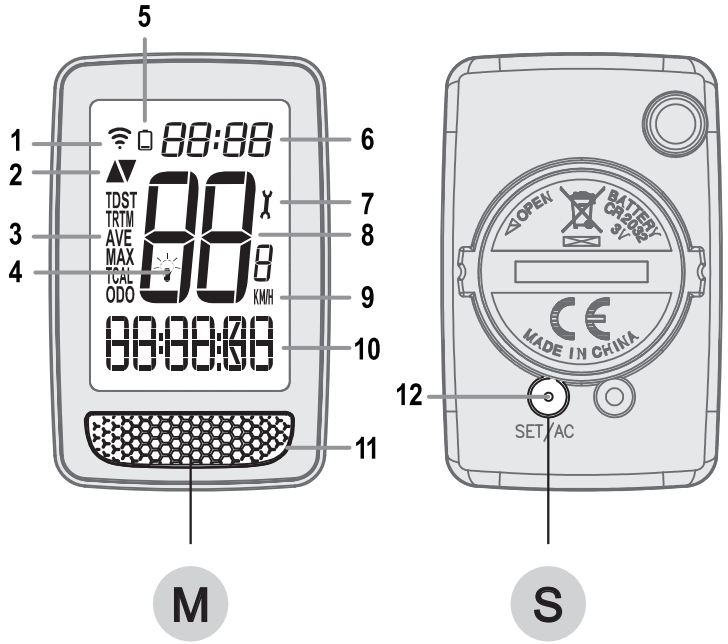
ヘッドユニットマウント、ベースパッド、ゴムのストラップを取り付けます。ヘッドユニットは 3 つの場所に取り付けることができます。
(A) ステム
(B) ハンドルバー
(C) ハンドルバーエクステンション
(オプション)

スピードセンサーを結束バンドでフォークに取り付けます。マグネットをスポークに取り付けます。マグネットがスピードセンサーの 5mm 以内を通過するようにします。

注記: マグネットとセンサーが 5mm 以上離れている場合、スピードセンサーは機能しません。

ディスプレイとボタン

全表示



1. 無線信号	スピードセンサーから信号を受信すると光ります。
2. ペースの矢印	↑は現在の速度が平均速度を超えたことを意味します。 ↓は現在の速度が平均速度を下回ったことを意味します。
3. 機能	フィールド 10 で表示される機能を示します。
DST	走行距離
TDST	合計走行距離
RTM	走行時間
TRTM	合計走行時間
AVE	平均速度
MAX	最大速度
CAL	消費カロリー
TCAL	合計消費カロリー
ODO	走行距離計

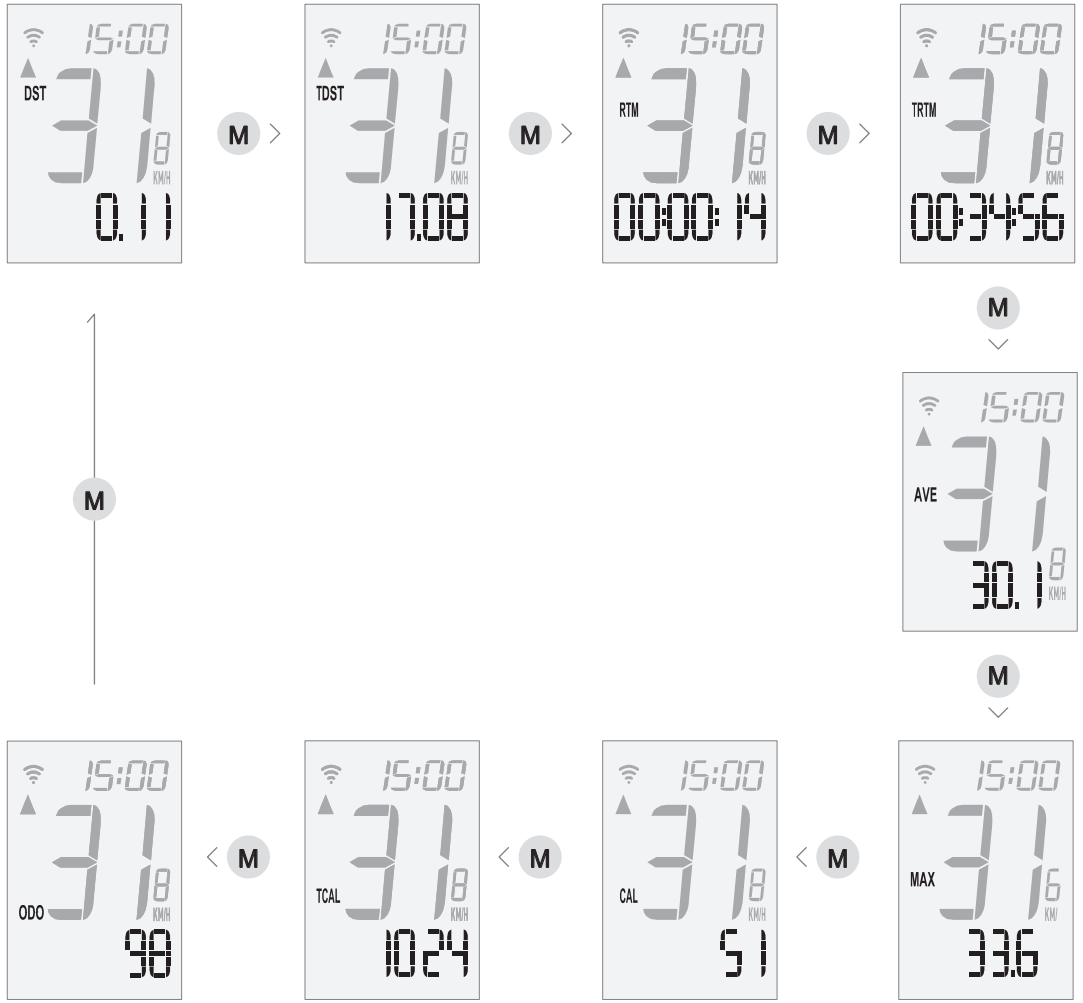
4. スマートバックライト	M キーを押し、バックライトをオンにします。バックライトは事前に設定した「オン」の期間だけ点灯します。
5. 電池残量が少ない	電圧が 2.4V を下回ると表示されます。すみやかに電池を交換してください。
6. 時計	12/24 時刻形式
7. 保守管理のお知らせ	事前に設定しておいた保守管理走行距離に到達すると表示されます。
8. 速度	現在の速度を表示します:
9. 単位:	km/kg または mi/lb
10. 機能値	フィールド 3 に表示されている機能の値を示します。
11. 機能キー M M キーを押します M2 M キーを 2 秒間押します	M: 機能の選択 M2: 確定とリセット
12. 設定/初期化	SET/AC キーを押し、設定メニューに入ります。

スリープ表示

ディスプレイモード

M

M キーを押して
離します。



M キーを押し、機能を切り替えます。

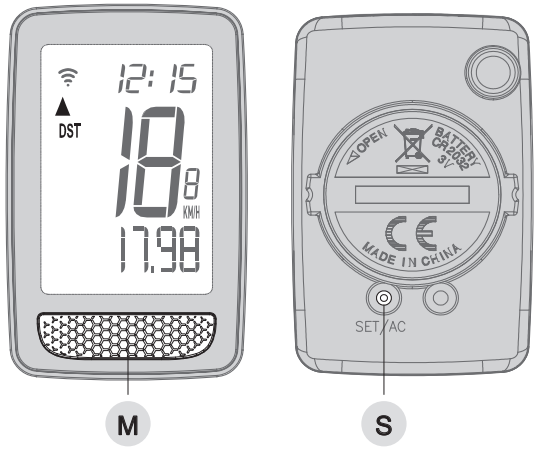
ディスプレイ	機能
DST	走行距離
TDST	合計走行距離
RTM	走行時間
TRTM	合計走行時間
AVE	平均速度
MAX	最大速度
CAL	消費カロリー
TCAL	合計消費カロリー
ODO	走行距離計

設定モード

M M キーを押して離します。

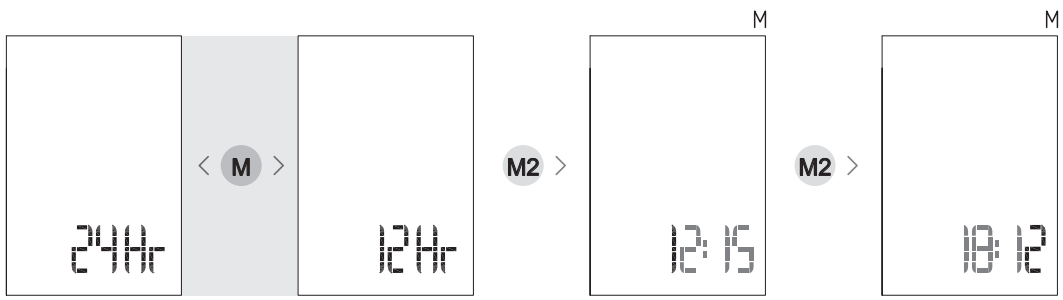
M2 M キーを 2 秒間押して離します。

S S キーを押して離します。

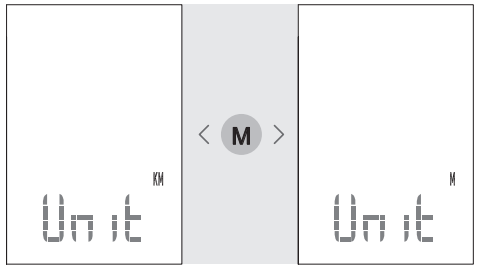


1. タイヤ周長の設定

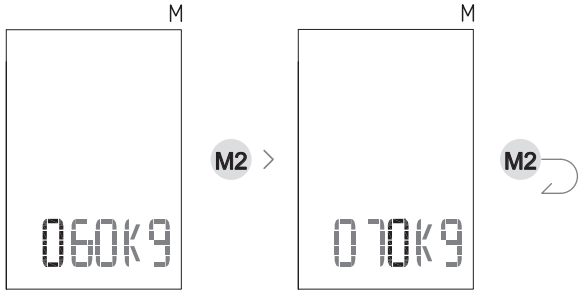
2. 時間設定



3. 単位設定



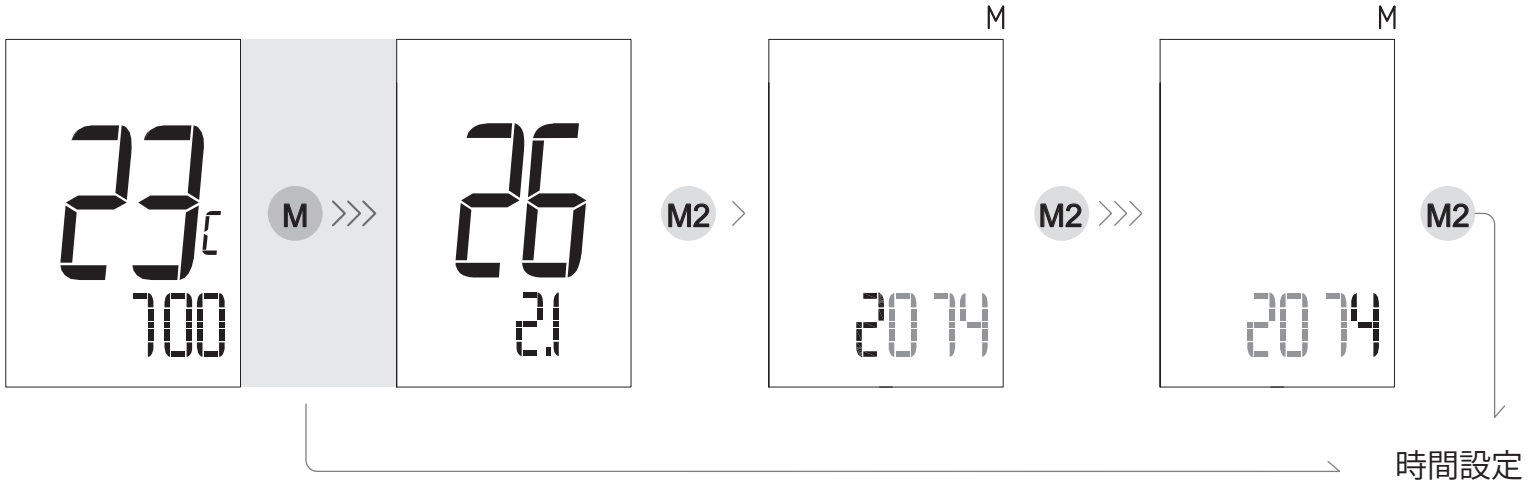
4. 体重設定



タイヤ周長の設定

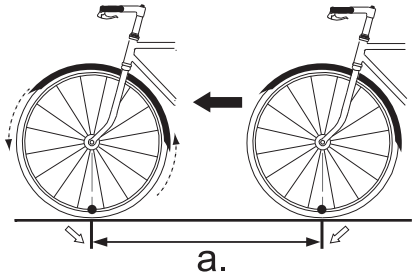
S を押し、設定モードに入ります。M を押し、事前にプログラムされている 10 種のタイヤ周長から選択します。タイヤ周長の該当がない場合、測定したホイール外周を入力します。設定プロセスに従い、M を押して値を選択し、M2 を押して確定します。サイズまたは外周を入力したら、M2 を押して時間設定に進みます。

タイヤ周長を選択します　　測定した外周を入力します



*Bike2 設定と同じ

タイヤ周長の測定方法



タイヤ周長ガイド（目安値）

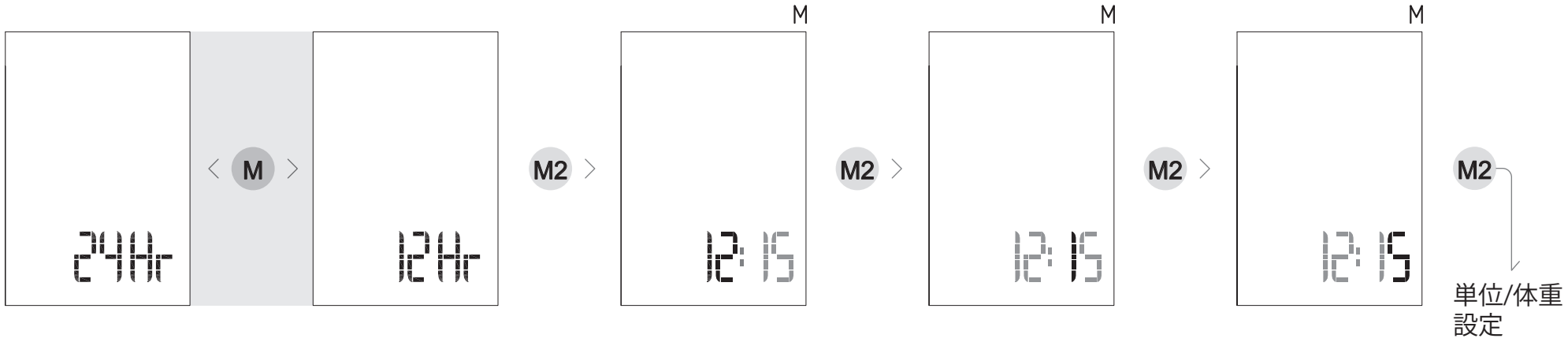
タイヤのサイズ	タイヤ周長(mm)
700x20C	2086
700x23C	2096
700x25C	2105
700x28C	2136
700x32C	2155
700x35C	2168
700x38C	2180
600x23C	1930
26x1.5	2010
26x1.90	2045
26x1.95	2050
26x2.0	2055
26x2.1	2068
26x2.2	2075
カスタム	0-3999

時刻の設定

時間設定モードに入ったら、M を押し、12Hr または 24Hr を選択します。M2 を押して選択を確定します。M を押して時間値を選択します。M2 を押して確定します。M を押して分値を選択します。M2 を押し、単位/体重設定に移ります。

時刻形式の設定

時刻の設定

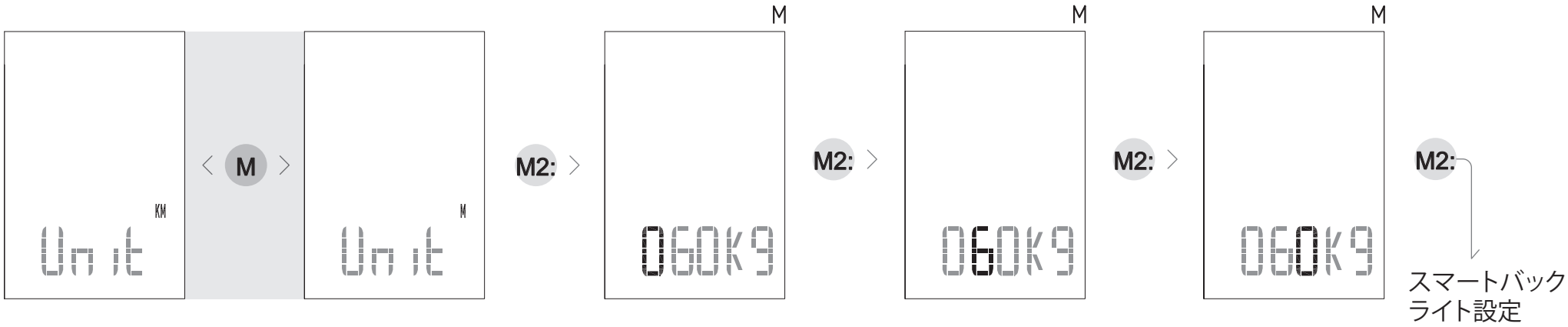


単位/体重設定

単位/体重設定モードに入ったら、M を押し、単位として km または mi を選択します。M2 を押して確定します。M を押して体重を入力します。M2 を押し、次の数字に進みます。M2 を押し、スマートバックライト設定に移ります。

単位設定

体重設定

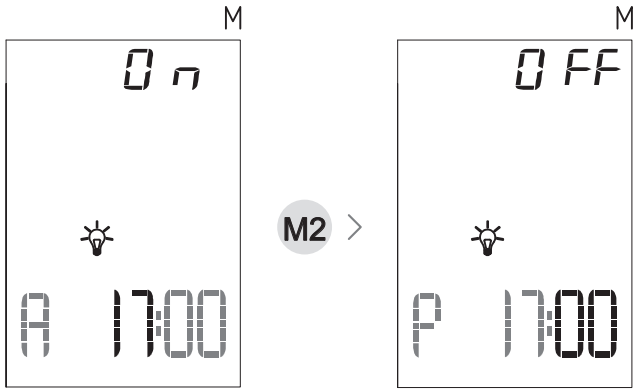


スマートバックライト設定 / 保守管理アラート設定

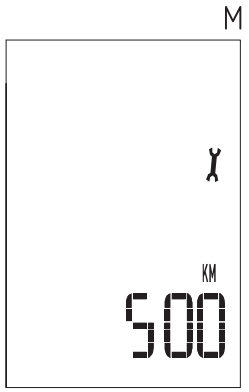
スマートバックライト設定に入ったら、M を押し、スマートバックライトの「オン」時刻を選択します。M2 を押して確定します。M を押し、スマートバックライトの「オフ」時刻を選択します。M2 を押し、保守管理アラート設定に移ります。

保守管理アラートモードに入ったら、M を押し、保守管理を希望の距離に設定します (300 ～ 700 km または 180 ～ 430 mi)。
M2 を押して設定を終了します。

スマートバックライト設定



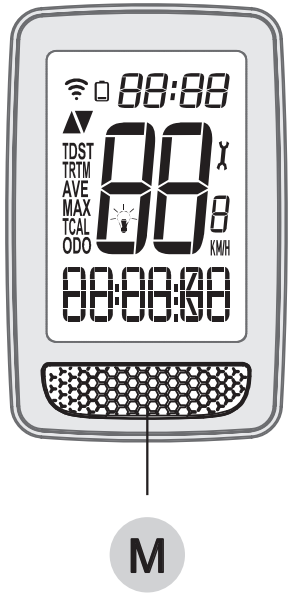
保守管理アラート設定



500 km に設定されている場合、累積走行距離が 500 km に到達するたびにコンピューターに が表示されます。
走行距離と合計距離は別々に記録されます。M2 を押すか、50 km 走るとアラート記号が消えます。

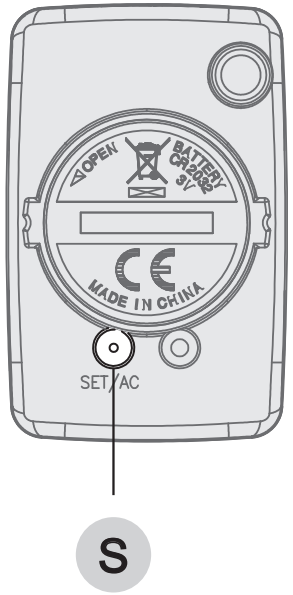
走行ログのリセット / リセット

走行ログのリセット



DST、RTM、AVE、MAX、CAL をリセットするには、いずれかのモードに移動し、M を 3 秒間押します。TDST、TRTM、TCAL をリセットするには、いずれかのモードに移動し、M を 3 秒間押します。

リセット



コンピューターが正常に動作しない場合、あるいは電池を入れた後に画面に何も映らない場合、ヘッドユニットの裏面の S キーを押し、コンピューターを工場出荷時の設定にリセットします。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決策
画面に何も表示されない	電池が入っていない	電池を入れてください。
	電池が切れてる	電池を交換してください。
	電池が逆に入っている	電池を正しく取り付けてください。正極が外側を向きます。
速度が表示されない	センサーとマグネットの距離が離れすぎ	センサーまたはマグネットを調整し、間の距離を 5mm 以内にします。

問題	考えられる原因	解決策
異常な数字が表示される	センサーとマグネットの距離が離れすぎ	センサーまたはマグネットを調整し、間の距離を 5mm 以内にします。
	センサーの電池の残量が少ない	センサーの電池を交換してください。
	近くに電磁干渉があるコンピューター、送信所、レーダー基地、高圧電線、自動ドアなど	干渉を受ける場所から離れてください。

仕様

現在の速度	0 ～ 99.9km/mi	走行時間	0:00:00 ~ 99:59:59
平均速度	0 ～ 99.9km/mi	合計走行時間	0:00:00 ~ 99:59:59
最大速度	0 ～ 99.9km/mi	時間 (12/24)	12:00:00 / 0:00:00
走行距離	0 ～ 999.9km/mi	消費カロリー	0 ～ 9,999Kcal
合計走行距離	0 ～ 999.9km/mi	合計消費カロリー	0 ～ 99,999Kcal
累積走行距離	0 ～ 99,999km/mi	電池が少なくなったときのアラート	2.4V

スマートバックライト	12:00:00 / 0:00:00	電池の寿命: 1 日あたり 1 時間	12 か月
単位:	km/kg、mi/lb	動作温度	-10 ～ + 50 °C 14 ～ 122 °F
自動休止	25 分	保管温度	-20 ～ + 60 °C -4 ～ 140 °F
自動電源オン	信号を受信すると自動的に電源がオンになります (ベースに取り付けている必要があります)。	センシング信号	0.5 ～ 12Hz
保守管理アラート	300 ～ 700km、 180 ～ 430 mi	ディスプレイシステム	7 セグメント
電池の種類	CR2032	マニュアル言語	日本語